

ごあいさつ

この度は、第24回アートロード展《東海ステーションギャラリー展》にご来場いただきまして誠にありがとうございます。

発足当初は美術連盟の有志45名、協賛店14店舗でスタート致しましたが、1992年の第4回展からは、書及び写真部門が、さらに2010年からは華道及び工芸部門が参加し現在は会員数89名、協賛店32店舗になりました。

これはひとえに、参加協賛店さんのご協力、アートロード会員の努力そして東海村教育委員会、文化協会等のご理解とご協力の賜物であると思います。この機会に改めて感謝申し上げる次第です。

ここでアートロードとはどういうものか簡単に説明させていただきます。

水戸市と日立市のほぼ中間に位置する東海村に住む 又は職場を持つ美術愛好家がアートロード会員として集まり『暮らしの中の美術館』をテーマに芸術文化の街“Art Road”づくりを目指して積極的に活動しております。

このテーマの狙いは、芸術作品を展示会場（美術館やギャラリー等）へ見に行くという従来の方法にとらわれず東海村の街並みを展示館に見立ててしまおうという発想にあります。

私たちが日頃利用している村内の道路に沿った商店街などの店舗、例えば理容所、喫茶店、レストラン、食事処、住宅展示場、あるいは金融機関、役場、更には、村内に点在します原子力関連施設などのロビーや、壁面等に会員が制作いたしました絵画、彫刻、書、写真あるいは華道や工芸作品を数カ月にわたり飾らせて頂きます。そして村民の皆様が、あるいはたまたま訪れた方がふとした折にこれらの作品に出会いほっと振り返るひと時を味わって頂ければ幸いですというわけです。

私たちは世界の東海村を、更に文化の街にしようとボランティア精神のもとに協賛店舗、事業所、行政更に会員皆様のご支援とご協力をいただき、年に一度の展示活動を続けています。

この《東海ステーションギャラリー》をアートロードの発信起点としましてステーションギャラリー展は2/18まで、アートロード展は原則4/末まで各協賛店舗で作品を展示いたしておりますので是非ご覧いただければと思います。

アートロード展はアートロード実行委員会に会員又は協賛店として登録して頂ければどなたでも参加できますので、ご希望の方は事務局宛てに連絡頂きますようお願い致しております。

2012年 第24回 アートロード展にて

アートロード実行委員会 代表 高橋 忠治
事務局長 塙 千恵子